

会 議 録

| | |
|--------------------------------|-------------------------|
| 会 議 の 名 称 | 平成20年度 第4回 岩城地域協議会 |
| 開 催 日 時 | 平成21年3月17日(火) 午後2時～午後4時 |
| 開 催 場 所 | 岩城総合支所 講堂 |
| 出 席 者 氏 名 | 「出席者名簿」のとおり |
| 欠 席 者 氏 名 | 「出席者名簿」のとおり |
| 【会議次第】 | |
| 1. 開 会 | |
| 2. あいさつ (①協議会会長) | |
| 3. 報告案件 | |
| (1) 由利本荘市総合発展計画 ～ 主要事業の見直しについて | |
| (2) 天鷲遊園について | |
| (3) 地域活性化・生活対策臨時交付金について | |
| 4. 協議案件 | |
| (1) 委員提案テーマ～「岩城地域の観光振興について」 | |
| (2) その他 | |
| 5. その他 | |
| 6. 閉 会 | |
| 会 議 の 経 過 | 別紙のとおり |

◆出席者名簿(敬称略)

(委員:22名、他13名)

| | | | | | |
|-----|--------|---------|------|-----|------|
| 会 長 | 前川 侅 | 総合支所長 | 鈴木幸治 | 事務局 | 大竹 晃 |
| 委 員 | 今野次男 | 主幹兼振興課長 | 渡部 進 | 事務局 | 高山淳一 |
| 委 員 | 進藤 貢 | 市民課長 | 打矢郁良 | 事務局 | 佐林祐輔 |
| 委 員 | 長谷部鋼次 | 福祉保健課長 | 小川 弘 | 事務局 | 安藤 謙 |
| 委 員 | 三船丸男 | 産業課長 | 伊藤尚武 | | |
| 委 員 | 堀井盛男 | 建設課長 | 渡部 昭 | | |
| 委 員 | 高野啓二 | 教育学習課長 | 堀井幸二 | | |
| 委 員 | 進藤三男 | 亀田美術館長 | 岸野芳夫 | | |
| 委 員 | 佐々木力ネヨ | 亀田出張所長 | 佐藤利一 | | |
| 委 員 | 進藤敏和 | | | | |
| 委 員 | 船木敬子 | | | | |
| 委 員 | 金森巳嗣 | | | | |
| 委 員 | 高野弘美 | | | | |
| 委 員 | 伊藤修二 | | | | |
| 委 員 | 阿部一雄 | | | | |
| 委 員 | 中村慶一 | | | | |
| 委 員 | 今野房夫 | | | | |
| 委 員 | 今野正樹 | | | | |
| 委 員 | 早川あけみ | | | | |
| 委 員 | 川上淳子 | | | | |
| 委 員 | 堀井ヤス子 | | | | |
| 委 員 | 須田まり子 | | | | |

【欠席者】 竹内善治郎委員、今野清子委員、渡部秋美委員、佐々木稔子委員、佐々木由美子委員、
三浦 稔委員、奈良禎子委員

会議の経過

平成20年度第4回 岩城地域協議会

平成21年3月17日(火)

午後2時00分 開会

前川・地域協議会会長あいさつ

【報告案件】

(1) 由利本荘市総合発展計画 ～ 主要事業の見直しについて(支所長)

(2) 天鷲遊園について(産業課長)

(3) 地域活性化・生活対策臨時交付金について(主幹兼振興課長)

◇議長

ただ今報告のありました3件につきまして、ご質問・ご意見・ご提言を承りたいと存じます。発言される際は挙手願います。どなたかございませんか。

○A 委員

今、天鷲遊園は21年度は営業しないというお話でありまして、これは去年から天鷲村全体についての振興というか、発展というか、そういうことを望んでいると。しかも、岩城にとって亀田にとっては、観光施設の第一の拠点ですので地域にとりましては大変重要な観光産業の一つで非常に重きを置かれている施設であるということは前々からお話されているとおりでありまして、今日の議題にもありますけれども天鷲村全体の経営が厳しくなっている、ひいては天鷲遊園については当面営業しないと、こういうわけでありまして、先日の議会の一般質問でしたか、これからの第三セクターの経営方針については、今は副市長が第三セクターの社長になっているけれども、今度は民間の方々に各三セクの社長になって経営の建て直しをやっていただかなければならないと、市の行政の職にある者が三セクの社長を務めるのは難しいと、こういう意味の一般質問に対する答弁でありましたけれども、では民間の社長さんを選ぶ準備は進んでいるのですか。

●総合支所長

前段の天鷲遊園については市としても我々としても苦渋の選択ということでもあります。総合発展計画の中に高城山一帯を含めた整備ということで、今後皆さん方から色々とお知恵をお借りしながら構想を練っていきたいと考えております。第三セクターの社長の件であります、今回の3月議会に9つの三セクの社長を6人の民間の方をお願いをするというような予算を提案したわけでありましてけれども、議会の審査のなかで、まだ色々議論をする余地があるということで、今回は取り下げることになっております。人選についてどこまで進んでいるのかということについては、人事の話でありまして、我々一般職のところにはそういった情報は入ってきておらないという現状でありますのでご理解いただきたいと思っております。

○A 委員

給料 20 万円払うというのがありましたよね。たとえば経営状態によって、または収益状態によって給料が上がったり下がったりするべきものだと私は思うのですが、全員に 20 万円の給料をやりますということだと、儲けても儲けなくても 20 万円だと、こういうことになりますよね。噂に寄れば、なににの社長には誰々と、あくまでも噂ですよ。でもそういうことも聞こえてきますので諸準備が進んでいるのかと。人件費の話も出ているわけですので、おかしいものだと、率直に言えばそういう気持ちもあるわけです。ですから敢えて質問したところです。

●総合支所長

実際に三セクの経営状況がそれぞれ違いますので、今おっしゃられたお話、そういう部分もあるかと思っております。そういった事、諸々を含めて今回まだまだ市と議会と、それから市民の皆様のご意見を伺う必要があるということで、取り下げという措置になったということですのでご理解いただきたいと思っております。それから人事の件につきましては噂の域では我々も聞いておりますけれども、それがどこまでどういうふうにして進行しているのかという具体の部分については承知していないということですので、なんとかそこらへんでご理解いただきたいと思っております。

○B 委員

天鷲遊園は去年は休止ということでしたが、地元の婦人会の皆さん等の協力を得ながら限定営業した。そして今年は休園、当分の間ということはですね、事実上廃止と同じではないかと私は考える。設備の状況を見ると、非常に老朽化して、危険極まりない状況ではないか。苦しいところで休止という言葉を使ったと思うけれども、総合発展計画の中に天鷲郷、高城公園のことがありますよね。むしろそういうものを前倒しして、私から言わせてもらおうと景観上大変醜い。解体すべきものは解体をして、景観を保つことによって、天鷲郷のあり方というもの、また良くなるんじゃないか。少子化時代、益々こういうものは発展は無いと思う。ですから、高城公園、天鷲郷整備、こういうものも総合発展計画のなかでもっと前に持ってきてやっていただければ大変ありがたいと思っております。それと、今三セクの話がありました。私もどこまでも赤字だろうと思っております。私はあのやり方自体が、むしろ三セクの営業成績をもって支配人を雇うというか、税金をもって支配人を雇用するっていうことでしょうか？私はおかしいなと思ったんです。ですから市議会は健全な判断をされたと思うんです。指定管理者の

委託料の中から社長の分を除いて修正議決されたと思いますけど、私は賢明な判断であったと思います。民間といえば言葉はいいんだけど、かなり経営感覚などを持っていないと大変難しいと思うんです。由利本荘市全体の中で、もっと統廃合というか、どうしても維持できないところがあると思うんです。そうしたものを見直す大胆な改革をしていかないとだめだと思うんです。今日この場で言ったってしょうがないんだけど。私はそういうことから、安易に、副市長が兼務しては経営が悪いから、専任の社長を置けば経営が良くなる、こういう発想でああいうことをやるということはいかがなものかと、私は思っておりました。議会においては賢明な判断をされたものと思っております。その旨、支所長、なんとか上の方に伝えておいて下さい。

●総合支所長

最後の部分、そういうご意見があったということを伝えさせていただきたいと思います。それから遊園の高城山一帯整備ということでもありますけれども、確かに景観上、安全上、衛生面においても決して好ましい状況にないということは十分理解しております。ただ、やはり相当のお金が必要であるということではなかなか手をかけられないままできたということもあります。それで、年度が先になりますけれども総合発展計画の中の高城山を含めた天鷲郷一帯の整備、これは遊園という考え方でなくて、いわゆる子供からお年寄りまで楽しめるような、そして安全な施設整備ということで考えて、当然観光的施設としての部分も持たせながらということになりますけれども、そういうことで今考えております。先ほど説明のありました定住自立圏構想のなかでも観光というものを位置づけておりますので、我々としても岩城地域の観光ということで、そういった部分を取り込んでもらえるように本庁の方に書類を提出しているところでありますので、皆さんからも今後、いろいろなご意見、アイデアを出していただければありがたいと思っております。いずれにしても、どういうふうな施設として整備していったら良いかということは我々役所の人間だけでなく、地域の皆さん、住民の皆さんと一緒に考えていきたいと思っておりますのでよろしくお願ひしたいと思っております。それから、三セクの見直しについては、当然将来的には統廃合ということ視野に入れた見直しを行革の一環として進めていく必要があるということについては、全く認識は同じでありますので、ご了解いただきたいと思っております。

○OC 委員

市営住宅についてですけど、一人でも借りられる市営住宅というのがあるのか知りたかったんです。そういうニーズがあるのか、今後一人で入れる住宅を建てる見込みがあるのか、そういうことをお聞きしたいです。

●建設課長

市営住宅ですが、今115戸岩城地域にあります。115戸の建物の建て方、全部が国の補助をいただいて建てておりますので、それらは一人で入れるものではありません。世帯を構成する必ず2名以上が入居しなければ入居基準に合わないということになります。由利本荘市全体でかなりの建物があるわけですが、完全に埋まっているということではありませんので、入居の状況からすれば、今後建物を増加させるということは計画しておりません。計画しているのは、古い建物を建て替えていくという形の事業に今後進んでいくことになります。本荘地域においては単身で入居できる建物がありますけれども、今は満杯の状況です。地域活性化等に入っている公営住宅の整備というのは屋根の

葺き替えの関係です。現在あるもので悪くなったものを改善するとか、古くなった部分を改修していくような形の事業を進めていきますけれども、建物そのものを増やしていくという計画はできない状況にあります。

OD 委員

25 番のところですけど、亀田駅パーク&ライドってありますけれど、まず日本語にこれを訳していただいて、これをどこに作る予定なのかご説明いただきたいです。それから、駐車場の関係で亀田駅は岩城みなと駅に利用者を取られているような状況ですが、亀田駅でも必要不可欠だと思いますけれど、どこのことなのか。

●主幹兼振興課長

先ずパーク&ライドですが、みなと駅をイメージしていただければ判るように、秋田市内、本荘市内に行く場合に、例えば車が混んだり目的地での駐車場が無いという場合にはみなと駅に駐車していただいて電車で行ってもらう、そういう方式のものです。今のみなと駅がパーク&ライド方式で整備させていただいたものです。亀田駅につきましても、あの周辺に駐車場が無いものですから、亀田駅周辺についてそういうふうなパーク&ライド方式の駐車場を整備したいということで、これにつきましては合併前の旧岩城町時代から計画を持っているわけでありまして、それと併せたあの周辺の整備、駐車場はもちろんですけども、駅舎の整備等も含めた計画を立てようという、計画書を策定しようという事業費 100 万円であります。

OD 委員

計画を立てるための？

◇議長

D 委員さんよろしいですか。

OD 委員

何だか訳が判らないです。

●総合支所長

そうすればですね、亀田駅については建物そのものはありますけれども、かなり老朽化しております。以前、町で道川駅を建て替えました。ああいうような形で、コンパクトにして使いやすい駅にしようという構想だと私は理解してきておりました。岩城町時代からの構想だと思います。それから、亀田の方が秋田に通勤するのに、亀田駅まで車で来て亀田駅から電車に乗ると、これがパーク&ライドということなので、そんなに難しく考えなくても良いと思います。

OD 委員

農協が無くなりましたよね。あそこ、ずいぶん広い空き地になって、あそこが公園みたいにでもなるのかなと思っていたんですけど。あれは個人のもの？じゃあ単に駅前のバスやタクシーが止まっているあそこら辺を駅を小さくして少し広くしてやるという案のための 100 万円ということですね。

●主幹兼振興課長

駅の建物をやるとすれば市の負担もでてまいります。そういうようなものを行った方が良いのか、あの周辺だけでなくもっと広く取り込んだものが良いのか、そういう全体的に考えた計画を立てたいということの調査費であります。

◇議長

他に何かありませんか。それでは報告の1、2、3については意見交換を終了させていただきます。続きまして協議案件、岩城地域における観光振興について、これまでの協議の過程等をもとに意見書の案を配布しておりますので、これについてご意見等をいただきたいと思います。

OE 委員

先ほどから天鷲遊園とか天鷲村等の観光開発について色々とお話したわけですが、こういう少子化の時代で天鷲遊園のような子供を目当てにして利益を上げるような施設の時代ではなくなったと思っています。時々天鷲村の前で県外のバスも来ているようですが、あの人たちが天鷲村をずっと見て、亀田城の方へ行く人も見られますが、この町にもう一度来てみたいというような感じを持って帰ってる人が何人いるだろうかと思っております。まあ、観光地化ということだけを考えれば、いわゆる箱物が主になるとは思いますが、資料館にしても、龍門寺にしても、妙慶寺にしても、そういうところをお客さんが見て廻っているところを見たことが無い。亀田は城下町であったわけですが、どこか活かされていないような気がする。観光案内人とか、そういうお話もお聞きしましたけれど、やはり確実な知識を持ってお客さんに接しないと、亀田ってこういうところだよと伝えられるような、お客さんに慕われるような施策というか、人の交わりというか、そんなものが欠けているような気がします。

◇議長

ただ今のはご意見として頂戴いたします。この意見書案を事前に皆さんに配布してありますので、皆さんから今日了解をいただいて市の方に意見書として提出したいということですので、これで良いのかどうか、あるいはこういうふうにつけ加えた方が良いとか、あるいはこういうところは削除した方が良いとか、そういう意見を皆さんから出していただきたい、こう思うわけです。この案を意見書として出したいと思っておりますので、これで良いのかどうか、ということを検討していただきたい。

OD 委員

桜マップ 100 景の作成に携わった者として、岩城地域で 10 箇所選ばれているなかでも、亀田小学校の土手の桜、これはすごく素晴らしい場所になっているので、亀田小学校の桜並木、これをどこかに入れていただければと思います。

OF 委員

天鷲遊園は 21 年度は休止すると、こういうことですから、ああいう施設は 1 年間休みますと取り返しのつかないような状態になりますから、その後にもた再開するというようにはならない。ずるずると無くされるのだ、と思わざるを得ないわけです。副市長が社長であるものを民間人に置き換えるというのは、まさに副市長＝行政の要職にある人が社長の時に潰してしまうということはやらない。潰すときは行政とは直接関係ない社長にやってもらう。私はそういう流れだと思います。責任を新しい民間の社長に委ねて、行政は傍観しながら会社の社長が経営不振だから止めた、という流れだろう。ですから、地域の皆さんが、なんとか息をつかせてやりたいというのであれば、天鷲村が管理をしているのですから、天鷲村の社長は数少ない職員をどのように有効に使えるか、黒字になるためにどういう手を打つかということに尽きるのではないかと思います。一生懸命に働いていますか？あそこに勤めている人。いや、こういうことを土壇場で私が申し上げるのは大変失礼だと思いますが。中には朝早くからよく働いている人もおるんですよ。でも、ここで働いていて、自分がこれで生活をしている、自分のためにも、第三セクターのためにも一生懸命にという、そういう真摯な姿勢が見られない人もいるように私は思います。先ほどからお話ありました「何か欠けている」というのはまさに、そこにあるのではないかと。少なくとも天鷲村に勤めている職員である以上は、亀田の歴史を全部勉強しておらなければいけないはずで、天鷲村にいる人が亀田の施設の案内人でなければいけないはずなんです。歴史的な背景を説明できる程度の知識は持たなければ、施設探訪の輪が広がってつながってこない。そういう面が欠けているのではないかと。これを一番よくやっているのは、この辺では矢島ですね。矢島の観光案内人、ボランティア、これは素晴らしいですよ。矢島という郷土の歴史を全部勉強いたしまして、矢島の町の中をボランティアの方が皆責任を持って案内をしてくれていますが、残念ながら当地域にはそんな気概のある人がおらない。私もその一人でありますから人のことを悪く言うのはもつての他なんでありますが、だんだんと寂れていくというのは、地域の皆さんにそういう心の中の活力というものが無くなっていくからではないかと。佐々木忠郎先生が「昔は文教の町であったが文教の文の字も無くなった」というのは、まさにそのことを言ったのではないかなんかと思っております。それと、天鷲村の赤字がいくらだとか何とか。第三セクターが赤字だというのは今始まったことではありません。前にも申し上げましたが、財政面から議論するならば、一般会計でやっているいろいろな施設の税金の垂れ流しというのはどうなっているんですか。地域協議会はその地域の協議会ですから、よそのことまで言うなということになるかと思いますが、市の財政が困窮している、逼迫をしているというのであれば、そういう諸々の施設というのは、特別会計で措置されているもの、あるいは一般会計から市民の目に見えないような形で一般財源が垂れ流されているもの、私はそのことも出すべきだと思う。ここも第三セクターにして、民間人の経営能力のある人に任せたい、というようなことをやるべきでないか。行政改革の一端だと思うんですよ。そういうことはやらないで、出張所とか花火とかそういう市の行政と地域住民が密接な関りを持っているところを一番最

初にぶった切る。こういうことでなくて、私は全市的にきちんと見直しをすべきだ。その上でどうにもならない部分についてはこうやらざるを得ないというような、市民に判りやすい行政の内容、施設の内容の説明をやっていただきたい。観光面と関係ありませんが、財政がこうなりましたが、こうなるということは合併協議会のときに予測できました。というのは三位一体改革の交付税を減らす、補助金を減らす、あるいは事務委譲をやってそれに見合う財源を地方にはやらない、こういうことをわかっておりながら地方6団体が最終的には手を打った。これではいけませんよと、私は協議会の中で何度もそれを申し上げたんですが聞き入れてもらえなかったんですよ。ここにいる委員の皆さんがどう思っているか知りませんが、10年後に人口9万人を切った程度の由利本荘市が地方交付税の算定を受ける場合には、従来どおりの算定基準になりますから、90億こないとしますよ。1市7町10年間、地方交付税を保証するというようなアメをしゃぶらせて、それが当初180億くらいでありますから、もう6年しみますと地方交付税90億、半分になるんですよ。どうやってこの財政運営をやっていくのか。今健全財政の運営なんていうのは聞いたことないですよ。健全財政なんていう言葉はでてこないんですよ。それだけ厳しくなってダメになったんです。そういう点から考えますと、岩城という地域の良いところ、市政全体のなかで総合発展計画の見直しというときに、どうして道川地区の西部開発構想というものを簡単に先送りにしたものなのか不思議でなりません。人口対策というのは将来に向けて、交付税の参入から何から大変な問題なんでありますが、比較的人口減少が大きいのは西目と岩城と本荘しかない。その中でも秋田市から人を呼べるという地の利にあるのが道川地区なんです。将来の財政と人口問題、これは密接な関係がございますから、そのことを長い目で考えるならば道川地区の西部開発構想というのは100%やらなくても、半分でも、これは由利本荘市の将来のためにカットすべきでなかった。将来を考えますと、この道川地区というものを由利本荘市の秋田市に向けた本当の意味での表玄関という点で、私は由利本荘市はもう一回見直すべきだと思いますし、それが今回の発展計画の見直しの中で、不思議なことやるもんだ、将来長い目でみたら一番良いことなのにと、これは財政にもつながると。こういう意味で私は企画調整課で出した原案であります。由利本荘市の企画調整部というのは岩城の道川地区というこの地の利を見誤ったのではないかと、そういう感じを持っています。

OD 委員

秋田県30景に不動の滝入ってますよね。それを落とすっていうのは大変残念なんですけど……

●事務局

不動の滝は新秋田30景からは漏れました。旧30景には入っていましたが、新しいものには入っていません。

◇議長

今言われたのは、何位に入ったとかそういうことでなく、不動の滝をなにかの形で入れるべきではないかということです。

●事務局

これにつきましては、天鷲郷のその他の中に盛り込みたいと思います。

OG 委員

先ほど、F 委員さんから矢島のひな街道のボランティアの話がありましたが、私も今回は電車で出かけてみたのですが、非情に興味を持ったのが、矢島では一般の民家の方も協力しているということ盛んに宣伝しておりましたので、どういう状況かなと思ってそちらの興味もありまして、駅に降りてから 300 円でひな街道のパスを買って、それを下げていると、協力するどこの家々でも旗を立てていて、そこに行くと見てくださいと案内してくれました。雑貨店とか家具店とか洋品店とか。一般の山田さんというすごく広いお家でしたけれど、全部で16箇所くらいでしたが、はっぴを着たボランティアの方々が当番で出ているということで、どこのお家、どこの会場に行っても生き生きしているなあ皆さんがニコニコして出迎えてくれるということはすごいサービスだなあと感じました。昨年と今年と2回ともみんな勉強しているなあと思いました。行く先々で、案内人の方がおばあちゃんが持ってきた着物を身に付けているとか、屏風はこういうものだとかいろいろなことを説明してくれて、とても詳しいんです。いや～活気あるなあ、どこに行っても秋田とかいろいろなところから来ている人に「こんにちは」とか「今度はどっちに行くの？」とかそういう人のふれあいがすごかったです。亀田でも民間のお家に良いものがあるとすればあのような協力をいただければいいもんだなあをつくづく思ってきました。城下町だし、亀田にも良いひな人形がたくさんありましたので民間をあげて協力していただければ、皆さんタダでは帰ってきません。お酒を買うやらあれやこれやと買います。天寿さんでは飾っているおひなさまを限定ラベルにしていますし、岩城でも天鷲ワインでやっているんですよね？。今度は釣り吉三平もサイダーのラベルにしたりして、みんな敏感だなあ、活気があるなあをつくづく思い知らされてきました。ああいう即次の段階、またその次の段階という考え方が地域の活性化につながるのだと感じてきました。次から次へと対応していけるような考え方が大事だということを勉強させてもらいましたので、亀田もただただ寂しいとばかり言わないで、婦人会の皆さんや一般の方の協力を得ながら、こういう風になっていけたらいいなあと感じてきました。

OD 委員

本荘でもお店や家々に飾るようにしていますよ。亀田は良いもの古いものはみんな亀田城に集めてしまっていますものね。本荘では町屋に行くと、お店屋さんが主なんですけど、いろいろ解説をしてくれるんですけど、亀田の人は来る人に家の中を見られるのは嫌だな～って思うんじゃないだろうか？って感じは受けました。亀田の方は奥ゆかしいって言うか・・・。

OG 委員

来る時は一般のお宅でも 300 人くらい来るって言ってました。飾りつけも大変で、東京に居る姉妹に手伝ってもらったなんて方もいらっしゃいましたし、とにかく大変な努力だと思いますね。

OD 委員

先日、ひな街道シンポジウムに参加したのですが、酒田の本間美術館の方だとか、鶴岡のそういう関係の方だとか、矢島の大井家の方だとか参加されて、代表の方がお話しされたのは、観光には3つの条件があって、一つ目、あと私たちにも当てはまるなあ、恥ずかしいなあと思ってきたのですが、地元の人が来ない観光は他所の人は絶対に来ないのだということ。これがまず第一だということ。私も亀田城で何かやっていた時に行っていたかなあと反省したんですけど、やはり亀田の人が惚れるような観光でないとは呼べないというものがあるそうなんです。ただ、亀田の施設を巡ると高いなあと感じますよ。天鷲村に行って、亀田城に行って、お茶を飲むと一回りで1,000円掛かりますものね。第三セクターの大変なところでしょうけれども、本荘の資料館は100円でしょ？あれも三セクなんですか？ぱいんすぱとか鶴舞温泉は？全部直営なの？周辺地域は三セクにして赤字だ赤字だって問題視してやめろって。みんな直営にしてもらわないと！

OB 委員

これは(この意見書案の内容は)これで止むを得ないということもあるので、ある程度これで良いと思います。ただ、3つの第三セクターがありますよね。このことをこれらの責任者＝支配人や従業員のみなさんにもよく理解してもらいたいと思います。市・行政にだけではなく、社員にもこの旨を徹底して地域の第三セクターですから社員の責任も大きいと思いますから。こういう考えがあるんだ、地域協議会ではこのように考えているんだということを知って、理解してもらって、自分達はどうすれば良いんだということをやってもらわないと、行政に資料が行っただけでは変化が無いと思いますので、そういうような必要があるとお願いしたい。いろいろ話が出ていますが、本荘の鶴舞温泉とかいろいろあるけれども、一般会計だか特別会計だかよく解らないけれども、福祉という冠を被せて莫大な赤字を出しているんですよ。ですから表面的には何も出てこないし、三セクでやっていると三角が大きく見えたり小さく見えたりして、弛んでいると言われるけれども、由利本荘市になって4年目5年目に入っているんだから、行財政改革をすとか、後期主要事業計画をお金が無いから見直すとかという前に、こういう本家本元からやっていかないとお金が出てこないと思います。

●事務局

ただ今頂戴いたしましたご意見は、それぞれ適所に盛り込まさせていただきます。

◇議長

今日出していただきました様々なご意見を盛り込んだ上で、再度チェックいたしまして市当局の方に提出するという手順で進めさせていただきたいと思います。宜しいでしょうか？最終的に出来上がったものは皆さんに配布することといたしますが、まとめについては私と事務局に一任させていただきたいと思います。それではこの件につきましてはこれで終了とさせていただきます。

◇議長

その他、何かございませんか？

OF 委員

以前、地域協議会で出された意見を本庁に持ち帰ってどういう組織・機構の中で検討してもらえるんですかと尋ねたところ、特には無いという話でしたが、私たちが集められて何だかんだと一所懸命やったつもりだけれども、結局、本庁に持ち帰ってもどこにもやるところが無いというのでは形だけの地区の地域協議会で、本庁では聞く耳を持たなかったということ。これはきちんとまな板の上に上げていただいて、広く検討してもらわないといけない問題だと思っています。地域協議会の委員も辞める（替わる）、理事も辞めるとなると、文書がどこかにしまいこまれて終わりだということの無いようにしっかりやってもらいたい。地域の問題点としてきちんと検討してもらいたい。このことをきちんと書き添えてもらいたい。

●総合支所長

旧本荘総合支所は同じ建物の中にありましたから、担当部局と事務局の間で直接キャッチボールすることが割と出来ましたけど、やはり他の支所では出来にくかったのかなあとと思います。今のお話への旨はきちんと本庁に申し入れしたいと思います。

OF 委員

本荘の地域協議会は本庁の中にあるのだから、職員だって担当部署ともツーカーだろうし、人事権だって財政権だって旧本荘市の職員が握っているわけでしょ。旧本荘市の職員だった現支所長だったら直ぐ職員間での話も出来るだろうけれども、周りの総合支所の職員はそうはいかない。話が通らないんですよ。だから困るんですよ。そういうことの無いようにもう少し総合支所の意見に謙虚に耳を傾けて聞いてもらいたい。地域の声が届くように、ダメならダメなようにこういう理由で出来ませんとか前回の問題点はこうでしたとかという報告が何も無かったんですよ。あまり岩城ばかりをやすめないで対等な立場で話が出来るようにやってもらいたい。

●主幹兼振興課長

地域協議会の協議内容についてですが、先日商工観光課の方に立ち寄った際に、理事から部長に地域協議会からこういうような意見があったからきちんとやっておけよと言われたとの話も聞いております。他の部長も理事からの指示を受けながら地域協議会の議事録にはきちんと目を通しているということだけは申し上げておきたいと思います。

OD 委員

市長選挙では、候補者の立会演説会をぜひやっていただきたいと思います。各候補者の考え方や政策をぜひ聞いてみたいんですよ。

OH 委員

先日、道の駅に立ち寄った時に、山形の方に向われる方と話をしましたら、岩城インターから高速に乗ると言われたので、松ヶ崎亀田インターも有りますよということを申し上げた。看板など道案内の方法にもう少し手当てがあったらいいなと思いました。インターを降りたところにも道の駅への案内看板がありますけど、今のままでは足りないの、もう少し誘導する方法を考えてもらいたい。

●建設課長

松ヶ崎亀田線の道路改良が引き続き進められておりまして、現状では大型車の交差がままならない状態ですので、全体の道路改良が終った時点で道の駅などへの誘導方法も考えたいと思います

●産業課長

各観光施設やインターチェンジへの案内については、私どもも心配しているところではありますが、なかなか対応出来ないのが実情です。松ヶ崎亀田インターから天鷲村方面への案内看板については観光協会の予算で何とか対応したいと考えて検討しておりますのでもう少しお待ちください。

◇議長

他に何かありませんか？

●主幹兼振興課長

※秋田厚生年金休暇センターの動向について報告

※市道二古亀田線への桜の植樹について説明並びに参加のお願い(3月29日実施。亀田地域コミュニティ協議会の阿部会長からも参加のお願い)

◇議長

それでは、以上をもちまして本日の地域協議会を終了いたします。

【午後4時閉会】
